

2024 年度 常磐大学大学院
人間科学研究科修士課程
春セメスター入学Ⅱ期

専門科目《第Ⅰ領域》
【解答例】

論述問題については一定の制約のもとに述べるものであり、その性質上、解答例の作成は難しいため、採点のポイントに掲載する。

問1（採点のポイント）

- ・ メリットとデメリットが論理的に整理されていること
- ・ 人間のコミュニケーションがどう変化するかという将来像に説得力があること
- ・ 説明に一貫性があり、論理構成が明快であること
- ・ 個人の感想にとどまらず、社会的な背景を客観的に捉えていること
- ・ 用語を使用した場合は用語の意味を正しく理解して使用していること

問2

(1)（採点のポイント）

- ・ オキシトシンがホルモンであることを理解して解答していること
- ・ オキシトシンは親和行動を促進する一方、集団内（ウチ）の絆を深めるために集団外（ソト）に対しては攻撃行動を誘発する両面性があることを理解して記述していること

(2)（採点のポイント）

- ・ 個体学習と対比して効率のよさについて言及していること
- ・ 「模倣」「教育」といった具体的な手段に言及していること
- ・ 道具使用における累積の重要性について言及していること

(3)（採点のポイント）

- ・ 「対称性」「推移性」「等価性」を正しく理解して説明していること。「等価性」の代わりに「反射性」に言及してもよい
- ・ 直接訓練されていない関係が、訓練された関係をもとに形成されることに言及していること

(4)（採点のポイント）

- ・ 「象徴性」「随意性」「可塑性」「公共性」「生産性」「転置性」に関する内容を含んでいること
- ・ 他の動物の音声との比較からヒト言語の特徴を説明できていること
- ・ 特徴はあくまで程度の問題であって質の問題ではないことを理解して説明していること